

## 第42回 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム プログラム

お問い合わせ： 事務局 東京理科大学 薬学部 薬理学研究室 山田大輔  
[yamadada@rs.tus.ac.jp](mailto:yamadada@rs.tus.ac.jp) または [jnrc2023@gmail.com](mailto:jnrc2023@gmail.com)  
047-124-1501 (代表)、内線 6431

9月2日 (土)

開会の辞 9:30-9:40

世話人代表：斎藤 顕宜 (東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室 教授)

シンポジウム 1 9:40-11:45

### 痛みと情動を制御する生体メカニズム

座長：山田 大輔 (東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室 講師)

- S1-1 不溶性食物繊維の長期摂取がマウスの腸内環境及び不安様行動に与える影響  
野崎 千尋  
早稲田大学 理工学術院 国際理工学センター 准教授
- S1-2 Neural circuits regulating emotional component of pain in the anterior cingulate cortex  
小澤 彰彦  
Florida Atlantic University Biomedical Science, Research Associate Professor
- S1-3 がん病態における内在性 $\mu$ -オピオイドシステム制御による全身状態の管理  
葛巻 直子  
星薬科大学 薬理学研究室 准教授
- S1-4 低用量オピオイドの新たな可能性～社会性行動調節における $\mu$ 受容体の役割  
吾郷 由希夫  
広島大学 大学院医系科学研究科 細胞分子薬理学 教授
- S1-5 オピオイド $\delta$ 受容体による情動制御メカニズム  
山田 大輔  
東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室 講師

ランチ 11:45-13:10

シンポジウム 2 13:10-15:00

## 基礎と臨床の融合を目指したオピオイド研究~現状と展望~

座長：上園 保仁（東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座 教授）

### S2-1 鎮静作用を分離した $\kappa$ オピオイド受容体作動薬の創製

斉藤 毅

筑波大睡眠研究機構 (IIS)、筑波大院人間総合 助教

### S2-2 オキシトシンは $\mu$ - および $\kappa$ -オピオイド受容体活性を促進させる~オキシトシンの $\mu$ - および $\kappa$ -positive allosteric modulator (PAM)としての可能性~

宮野 加奈子

東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座 准教授

### S2-3 ホウレン草含有ペプチド、ルビスコリン ( $\delta$ アゴニスト) の経口薬剤としての創薬の可能性

上園 保仁

東京慈恵医科大学 疼痛制御研究講座 教授

### S2-4 新規 $\delta$ オピオイド受容体作動薬の創製

藤井 秀明

北里大学 薬学部薬学科・生命創薬科学科生命薬化学 教授

コーヒーブレイク

15:00-15:15

## 基調講演

15:15-16:15

座長：斎藤 顕宜（東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室 教授）

### オピオイド細胞学とオピオイド臨床の融合

成田 年

星薬科大学 薬理学研究室 教授

国立がん研究センター研究所 がん患者病態生理研究分野 分野長

コーヒーブレイク

16:15-16:30

## 海外講演

16:30-18:00

座長：野崎 千尋（早稲田大学 理工学術院 国際理工学センター 准教授）

### O-1 Cannabinoid system activity shapes ageing process

Andras Bilkei-Gorzo

University of Bonn, Germany,

### O-2 Opioid receptors in neuroinflammatory cells in pain and chronic opioid effects

Claire Gaveriaux-Ruff  
Université de Strasbourg, France, Professor

懇親会	18:00-20:00
ショートトーク	18:15-18:45

9月3日(日)

シンポジウム3

9:40-11:45

**疼痛研究の新展開 ~基礎研究から臨床応用まで~**

座長：中本 賀寿夫（神戸薬科大学 薬学部 薬学科 准教授）

- S3-1 中枢性疼痛の形成機構におけるオレキシンシグナルの関与（仮）  
徳山 尚吾  
神戸学院大学 薬学部 教授
- S3-2 定型抗精神病薬「ピモジド」の 新規難治性疼痛治療薬のお話（仮）  
川畑 篤史  
近畿大学 薬学部 医療薬学科 教授
- S3-3 PACAP の基礎・臨床研究についての話（仮）  
栗原 崇  
鹿児島大学 医歯学域医学系 医歯学総合研究科 先進治療科学専攻  
生体情報薬理学分野 准教授
- S3-4 新規シナプス分子に着目した神経障害性疼痛の病態機序の解明とその予防および  
治療薬創出を目指した研究（仮）  
片野 泰代  
関西医科大学 医化学教室 准教授
- S3-5 痛みとりゾホスファチジン酸（LPA）シグナリングの基礎と臨床の話（仮）  
住谷 昌彦  
東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部 部長 准教授

ランチ

11:45-13:10

特別講演

13:10-14:10

座長：山田 大輔（東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室 講師）

**神経とグリアの多様性から考える痛覚伝達制御機構**

津田 誠

九州大学大学院 薬学研究院 薬理学分野 教授

ポスター発表

14:10-15:40

**薬剤師によるオピオイド鎮痛薬に関する研究と教育**

座長：吉澤 一巳（東京理科大学 薬学部 薬学科 疾患薬理学研究室 教授）

S4-1 薬剤師による臨床研究の進め方（仮）

川口 崇

東京薬科大学 薬学部 医療薬学科 医療実務薬学教室 准教授

S4-2 オピオイド鎮痛薬の臨床研究の具体例（仮）

津野 丈彦

横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部

S4-3 中高生に対する麻薬教育の進め方（仮）

田口 真穂

横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室 准教授

S4-4 一般の方々への麻薬教育の取り組み（仮）

鈴木 由美

医薬品適正使用・乱用防止推進会議 S1-5

閉会の辞

世話人代表：斎藤 顕宜（東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室 教授）